

ねことわーく厚生



- 院長あいさつ
- 病診連携室をご紹介します
- 新外来棟のご案内 患者様にやさしい工夫がいっぱいです。
- 各科だより 「徒然なるままに」他
- その他 デジタルマンモグラフィ検診車がやってきた。他



■ 編集・発行 ■

山梨厚生病院 広報委員会
TEL 0553-23-1311
URL <http://www.kosei.jp/>

ねっとわーく厚生 創刊にあたって

ごあいさつ

院長 千葉成宏



財団法人山梨厚生病院は、昭和26年の開設以来、地域の皆様の健康と福祉の向上に貢献することを使命とし、検診事業や介護事業などと連携した総合的な医療福祉の提供に努めてまいりました。

当院は現在、23の診療科を擁し、病床数620床、人工透析施設及び人間ドックなど、その規模と内容で峡東地区の中核病院としての責任が果たせるようスタッフならびに施設・設備の充実を日々図っております。

山梨厚生病会・山梨厚生病院の基本理念をあらわす標語は、「やさしく・親切・ていねいに」であり、病院職員一人一人が決して忘れないように、各自の胸に付けている名札の裏に印刷されております。病院のよしあしは、医療者の知識や技術、病院の施設・設備やアメニティーなど色々な要素で決まるものと思いますが、現在のように経済性や効率が追求される世の中では、医療の原点であります人間愛にみちた医療であるか、質の高い医療であるかなどがことさら重要ではないかと思われます。

今、病院では基本方針のひとつとして、「患者様本位の医療」ということを進めています。それは人間の命を尊重し、患者様の人としての尊厳や権利を尊重し、患者様中心の医療を行うことです。患者様中心とはどういうことでしょうか？具体的には、診療に際して病状や治療について十分な説明を受け、納得し、仮に選択肢があるときは自分で決めること、さらには診療を受身で受けるだけでなく、患者様が積極的に診療に参加することを意味しています。「自分の身体には自分自身で責任を取る」などと言うと、責任転嫁かと叱られそうですが、そんなことは決してありません。当院のスタッフは、患者様を全面的にサポートいたします。どうか、どんなことでもお気軽にご相談ください。

少子高齢化の流れの中で、国は、高齢者の医療費の自己負担を引上げたり、総額規制によって診療を抑制するような医療政策を進めようとしています。私達は、国民の一人として、医療に携わる者の一員として、現在の医療費の中でも医療の質が低下することのないように努力し、国民の健康や福祉の水準を維持し、さらに向上させていきたいと思っております。皆様の当院に対するご意見やご希望をお寄せください。

山梨厚生病院の理念

財団法人山梨厚生病院は、箇々の職員が誇りを持って、全ての患者様・ご利用者様に対し、

やさしく・親切・ていねいに

を理念に、最高の医療・介護サービスを提供することに全力を尽くします。

I. 温もりがあると言われる

やさしい医療・介護を目指します。

II. ありがとうと言われる

親切な医療・介護を目指します

III. 安心と言われる

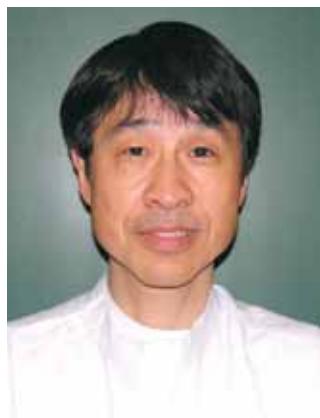
ていねいな医療・介護を目指します

山梨厚生病院の基本方針

山梨厚生病院は、つねに「人間愛に満ちた、より質の高い総合医療」を目指し、広く社会・公共のために寄与する。

- 患者様本位の医療を目指します
- 最高・最新の医療を目指します
- 総合医療を目指します
- 地域に開かれた病院を目指します
- 教育・研修の充実を目指します

～病診連携室を紹介します～



病診連携室 室長 浅川 哲也 (副院長)

当院に病診連携が開設されてから早や5年が経ようとしています。当時は、るべき仕事内容も十分に分からぬままのスタートであったため、ご利用された患者様、地域の先生方には何かとご迷惑をお掛けしたものと、この場を借りてお詫び申し上げます。最近ではスタッフも慣れ、比較的円滑に業務をこなすことができつつあります。私達の役割は当院と他の医療機関との間における患者様の紹介をより円滑に行い、患者様に最善の医療が提供できるよう配慮することであり、また東山梨地域全体の医療レベルの向上に貢献することであると考えております。

それでは病診連携室のスタッフを紹介させていただきます。



向かって左上から

小林みどり (副看護師長)

矢崎はる美 (看護師長)

河西 圭子 (耳鼻咽喉科部長)

岩瀬 輝彦 (副室長／消化器科部長)

山寺 陽一 (副室長／副院長)

谷澤久美子 (事務)

片田 有紀 (事務)

望月 治香 (事務)

病 診 連 携 の 流 れ

→ (青) は、患者様の流れ

紹介状または健康診断結果をお預かりします（直接お越しください）

カルテを準備します

紹介患者様登録し、病診連絡患者票・来院一報用紙・院長一報用紙を発行します

該当診療科へご案内します（紹介状又は健診結果表と紹介患者様登録票と一緒に）

診 療 終 了

通 院 ・ 終 了

入 院

会 計

病棟へ

診療終了後、院長一報用紙又はお返事が記入されているかチェックします

返信の内容をチェックし、登録します

初回・中途

最 終 報 告

紹介医へのお返事 (FAXによる一報) をします

追跡チェック

終 了

～新外来棟のご案内～

外来看護師長 矢崎 はる美

平成18年1月4日、新外来棟がオープンしました。この建物は、地上5階地下1階建てで、1階と2階が今回ご案内する外来患者様スペースとなっています。1階には、小児科、泌尿器科、糖尿病科外来が、2階には、婦人科、第2処置室、病理・細菌検査室がはいっています。

「小児科外来」は、一般診察室3室、感染症診察室2室及び処置室・点滴室があり、さらにお母様方から要望が強かった「授乳室」と「プレイルーム」も十分なスペースを取りました。点滴室には、ベッド8床と専用のトイレがあり、また感染症診察室は、院外から直接出入りできる構造になっており、他のお子様への感染を防ぐ配慮をしております。

「泌尿器科外来」は、診察室2室と処置室があります。特に処置室は、車イスでみえられた患者様でもスムーズに検査、処置が受けられるよう十分なスペースを取りました。

「糖尿病科外来」は、診察室2室と展示コーナーがあります。このコーナーには、フードモデル(糖尿病食)や糖尿病に関するパンフレットなどを用意し、患者様には「待ち時間の間にチョット見ることができる」と大変好評をいただいております。待合室には、専用の採血コーナーを設置し、患者様が外来にみえられて直ぐに検査ができるようになり、またトイレには、採尿後の検体提出ボックスを設け、尿検体を患者様が持ち運ぶことがないようにするなど、患者様の利便性を一段と向上させるよう配慮しました。

「婦人科外来」は、診察室2室と内診室2室があります。女性患者様に少しでも落ち着いた、暖かみのある診療環境をと、受付は木目調の素材でオープンカウンター形式を採用しました。また待合室とトイレは、外廊下と完全に遮断された部屋とし、内診室には床暖房を取り入れるなど女性にやさしい構造となっています。

「第2処置室」は、A,Bの2部屋に分かれています。A室には電動式ベッド16床を設け、窓も大きくし外の景色がよく見られるようにしました。B室には電動式リクライニングチェア10台を設けました。こちらは建物の構造上、窓を大きく取ることができませんでしたので、チェアーそれに液晶テレビを設置してあります。また、薬剤師が駐在する「薬剤ミキシングルーム」を設けた点も、スムーズな処置を行う上で大きな利点となっています。





処置室②A



処置室②B(化学療法室)

薬剤ミキシングルーム
(処置室②Bで使う注射薬を調合します。)

～徒然なるままに～

泌尿器科 医長 伊藤 薫一

耐震偽装問題にライブドア問題など暗澹たる内容の報道の多い中この原稿を書いています。不確実性の強い現在だからこそ自分自身をしっかりと持たなければいけないのでしょうが、理想からは程遠い者はいったい何を抛り所に生きていったら良いのだろうと自問自答の毎日です。さてこんな中、新外来棟が完成し気持ちも新たに外来診療が始まりました。「ヴァンフォーレ甲府」とともに明るい未来を信じて頑張っていきたいと思っています。

ここで、ついでにと言っては何ですが、ちょっと泌尿器科の宣伝をさせていただきます。私たちはその名の通り泌尿器科を専門とする医者です。最近は泌尿器科の認知度も上がってきています(いい意味でも悪い意味でもですが…)、いちいち対象臓器だこの治療方法だこのと言わなくとも分かっていただけるようになりつつありますが、まだまだ親戚などにも「性病科でしょ?」と言われることが珍しくありません。これは昔の皮膚泌尿器科の時代の流れからかも知れませんが、泌尿器科はどちらかというと外科の一分野です。今では全く普通の手術となった腎臓摘出術(腎臓癌などに行う手術です)も1869年(明治2年)にドイツ、ハイデルベルク大学のグスタフ・シモンが初めて行ったときには決死の手術だったそうです。極めて簡単な内視鏡手術である膀胱結石手術も18世紀頃は拷問のような手術で(麻酔もありませんでしたから)、これに因んだ(悲惨さを象徴した?)ピアノの曲を聴いたことがあります。当時の人たちがタイムマシーンでやって来て今の手術の様子を見たら腰を抜かすことでしょう。一方で手術方法やそれに伴うメリット、デメリット、成績など一般からの要求は急速に厳しさを増しており、我々も自分自身の肉体的、精神的健康や時間を犠牲にしてようやつとの思いでこれに追いつく努力を続けています。

より身体的には負担が少ないけれども、合併症に対する細心の注意と高度のテクニックを要求される腹腔鏡手術、内視鏡下手術なども当科では行っております。今後も医学はますます高度化し細分化されていくでしょうが、これに追いついていく努力をこれからも続けていくつもりであります。どうぞよろしくお願ひいたします。

[泌尿器科外来スタッフ]



スタッフ紹介(左上から)

- 望月 勉 (医師)
- 高木 孝治 (医師)
- 松井 隆史 (医師)
- 薩美てるえ (看護)
- 伊藤 薫一 (医長)

新しくなった泌尿器科外来診察室の前で

～婦人科外来レター～

婦人科 医長 長田 典子

女性の皆様、新しくなった婦人科外来をのぞきにいらしてください。

平成18年1月から新外来棟の2階に移動しました。日当たりがよく明るいスペースで、他の外来とは少し離れたところにあります。スタッフみんなで知恵を出し合って、患者様に少しでも快適に受診していただけるよう工夫してみました。先の「新外来棟のご案内」でご紹介した点の他に、内診室を広く取り、足の不自由な方でも乗りやすいように、座ったまま乗れる回転式の内診台を導入しました。婦人科は、なんとなく行きにくい科ではありますが、気軽に相談に行ける外来を目指してスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。

婦人科受診に際しては、月経がある方は、必ず最終月経を尋ねられますので受診前に確認しておかることをお勧めします。また閉経された方は、閉経年齢をご確認ください。妊娠の可能性のある方は、受付時に一言おっしゃっていただけますと助かります。現在当院の婦人科は、午前中の診療のみとなっており、出産及び妊娠に際した疾患は、取り扱っておりません。また、今のところ入院も取り扱っておりませんので、ご了承いただきたいと思います。次に婦人科受診に際する疾患をいくつかあげてみました。

1) 子宮がん検診

市町村検診を含め、年1回は子宮がん検診を受けましょう。若年の方でも性交渉の経験がある方は受けておかれただろうがよいです。また近年「子宮体部がん」の発症が増えていますので、不正出血がある方は必ず受けましょう。年1回の検診でも行き慣れておくと、万が一何らかの症状が発生した場合、少しあは受診しやすくなると思います。

2) 月経不順

できる限り基礎体温をつけることをお勧めします。排卵の有無や月経周期、ホルモン異常の程度などを予測する上で貴重な資料となります。受診の際は是非お持ちください。年齢による月経不順であることが勿論一番多いのですが、子宮内膜異常など他の疾患の原因になることもありますので、時々診察しておかれるとよいと思います。また今後、妊娠をご希望される方にとっては、基礎体温がさらに重要になりますので、記録されて受診してください。

3) 帯下

月経のある方は、ホルモン周期に応じて分泌物が出るのは当たり前なのですが、“量が増えた” “性状がおかしい” “痛い・かゆい”などの症状がある場合は受診してください。若年の方は、性病もふえていますので気になる帯下があるときは検査を受けることをお勧めします。また閉経後は、冷えや疲れから帯下が増えることがあります、続くときには受診され治療しておかれるとよいと思います

女性は、とにかく家族や仕事第一となり、ご自分の身体のことは二の次になります。いつまでも健康で若々しく暮らすためにも、またご家族のためにも気になる症状がある時は、早めに受診してみてください。

[婦人科外来スタッフ]



新しくなった婦人科外来診察室内で

スタッフ紹介（左から）

中村 保子（看護）

長田 典子（医長）

堀内紀代美（事務）

非常勤医師

笠井 剛（非常勤医/山梨大学）

三宅 麻喜（非常勤医/山梨大学）

葉袋 牧子（非常勤医/山梨大学）



小児科だより

小児科部長 池田久剛

乳幼児期に起こりやすい病気(症状)とその対処法

熱が出たら・・・

1) 熱が高いと頭がおかしくなる?

41℃以上熱が上がらなければ、頭がおかしくなることはありません。ウィルスは熱に弱くて、逆に人の体は熱が高いほど免疫の力が増して、細菌やウィルスと戦う力が増します。熱の高さと病気の重さは関係ありません。高熱で辛そうに見えても、ほかに症状がなく元気があって食欲もあるときは一晩様子を見ても大丈夫です。

2) 病院に早く行ったほうが良いときは?

生後3ヶ月未満の赤ちゃんで38℃以上の発熱
水分を受けつけない、飲んでも吐いてしまう
はじめてひきつけをおこした
顔色が悪くあやしても笑わない
ウトウトして眠ってばかりいる。



3) 冷やすの?暖めるの?

手足が冷たく、ブルブル震えている時は、熱が上がってくる時です。冷やすずに保温してあげましょう。こういうときに、解熱剤を使ってもあまり効果はありません。しばらくして顔が真っ赤になり、手足も熱くなったら、おでこや脇の下を冷やします。

4) 解熱剤はどう使うの?

38.5℃以上あって疲れなれなかったり、食欲がなれなかったりつらそうな時。
6時間以上間隔をあけて、1日2回までに。
体重が違うので、お兄ちゃんやお姉ちゃんの薬は使わないようにしましょう。
決して病気を治す薬ではありません。

5) 解熱剤の種類

小児(ことに乳幼児)では、アセトアミノフェンという薬を使用します。
内服薬と座薬があり、座薬は冷蔵庫に入れて保管します。



4) の使い方を守ってください。

6) 入浴は?

37.5℃以下で、食欲があり、
元気ならば短い時間の入浴はかまいません。
湯冷めに気をつけましょう。
10分間の入浴は5分間のジョギングと同じ体力を消耗します。



[小児科スタッフ]



スタッフ紹介(左から)
河野 秀子(看護)
小林 浩司(医師)
海野 杏奈(医師)
奥山 玲子(看護)
池田 久剛(小児科部長)
中山 和美(事務)
山城 大(医師)
山本 浩子(事務)

新しくなった小児科外来診察室の前で

デジタルマンモグラフィ(乳房X線撮影)検診車 登場!!

今、日本人女性の30人に1人が乳ガンにかかるといわれ、発生率は欧米並みになりつつあります。さらに壮年女性（30～64歳）の死亡原因では、癌の中でトップに位置しています。乳ガンも他の癌同様「早期発見・早期治療」が最も大切です。そのため、これまで視触診に頼っていた検診に加えX線撮影診断（マンモグラフィ）が近年注目を集め、その有効性もすでに立証されています。

当院では、マンモグラフィを院内検診にいち早く取り入れ、乳腺外来の開設とも併せ、乳ガンへの対応を積極的に推進してまいりましたが、さらに平成17年12月「日本自転車振興会」の補助を受け「デジタルマンモグラフィ検診車」を導入し、今年度より本格的に稼動いたします。「わざわざ病院に出向かなくても、その他の検査と一緒に検診車内で気軽に乳ガンの検査ができる。」と多くの方から期待の声が寄せられています。



春の恵をたっぷりとろう！

春に出回る新キヤベツは柔らかく、生のままでも、煮込んでも、甘みがあり美味しい食材料です。アブラ科のキヤベツは歴史も古く、野菜のなかでは、最も広く分布しているといわれ、しかもブロッコリー、芽キヤベツ、カリフラワーなど様々な野菜のもとになっています。キヤベツの効用としては、消化をよくする働きのあるビタミンU、体の調子を整えるビタミンCを含みます。仲間のブロッコリーには、βカロチン、食物繊維、ビタミンCなどを豊富に含みます。うららかな季節、春野菜をたっぷり使った野菜スープは簡単で栄養満点！野菜嫌いな子供達にも喜ばれる一品です。

春野菜スープ



【材料(4人分)】

・キヤベツ 1/3ヶ ・玉葱 1/2ヶ ・じゃが芋 2ヶ ・人参 1/3本
・ブロッコリー 半房 ・ハムやベーコン、ソーセージなど 適量 (※時間があれば、鶏挽肉200g、パン粉、卵、塩コショウで鶏ボールにしても美味しい)
・その他、野菜、きのこなんでもOK！ ・コンソメ 2ヶ ・塩コショウ 適量

【作り方】

- 1 大きめの鍋に水とコンソメを入れる。
- 2 1が煮立つ間に火の通りにくい野菜(ブロッコリーは一番最後)から適当に切って鍋に入れる。
- 3 煮立ったところへベーコン(又は鶏ボール)を入れる。
- 4 火が通ったら弱火にして煮込む。
- 5 塩コショウで味を整え小房に分けたブロッコリーを加える。
- 6 ブロッコリーが柔らかくなればできあがり。

編 集

後 記

平成18年、若葉の芽吹きとともに、念願の広報誌を創刊する事ができました。
創刊にあたり、ご協力いただいた関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

[ねっとわーく厚生] 名称は、3-1病棟、看護師「稻葉紀子」さんから応募いただいたものです。この誌が当院と当院を受診される(された)患者様とそのご家族・地域の方々とをつなぐ「架け橋～その橋げたのひとつ～」となるようにとの願いをこめて！

ご意見、自主投稿をお待ちしています。次号は平成18年11月発行の予定です。